

## 袖ヶ浦福祉センター養育園での事件に対する声明

袖ヶ浦福祉センター養育園において、職員の暴行により入所者の19歳の少年が死亡し、また、複数の職員が他の入所者を繰り返し虐待していた疑いがあるとの報道がありました。事実であれば、誠に遺憾です。亡くなられた少年とそのご家族に心よりお悔やみ申し上げます。

報道によると、当該職員から「支援がうまくいかず暴力に至った」との発言があったとのこと。知的障害児者、特に自閉症を併せ持っている人は、時としてコミュニケーションが困難で、いわゆる行動障害が発生し、職員が支援に難渋することは広く知られています。知的障害児者の権利擁護のためには、単なる精神論や法律による規制のみではなく、一人一人に合わせた的確な支援を追及する姿勢が最重要です。同法人内では、強度行動障害のある知的障害者に対する様々な支援の取組が行われていると聞いております。その経験と知識が生かされていなかったことは大変残念です。

今後、再発防止のための真相解明、原因究明とともに、法人一体となって適確な支援体制を実行していくことを強く要望します。同時に、的確な支援体制の構築と共有を千葉県全体で実現するために、人材確保、組織作り、システム運用を促進する施策を実行していただくことを要望します。

平成 25 年 12 月 14 日

千葉県自閉症協会  
会長 大屋滋